

様式(細則 6-2)

年 月 日

浜田市議会議長 様

議員名 牛 尾 昭

研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので報告します。

記

1. 研修名

市民連携の最前線と、議選監査の役割と活用方法

2. 受講の目的 (市政との関連など)

この施設と市内との連携、議選監査と議会との関係について

3. 期間 (移動日を含む)

令和 7 年 5 月 9 日 (金) ~ 令和 年 月 日 ()

4. 経費 11,220 円

(経費内訳 受講料 11,000 円、旅費 220 円)

5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

9月決算への準備として

6. 研修内容

(詳細は別紙のとおり)



研修日程、令和7年5月9日、p m 1 3 ~ 1 7 時。

地方政策と議会改革を学ぶ研修会。

研修先、ローカルマニフェスト推進連盟、オンライン講演会。

- ・ 第一部：(株) 良品計画 x 可児市の官民連携事例
- ・ 第二部：町田市の民間連携によるデジタル化事例
- ・ 第三部：「議選監査」の役割と活用法に関する議論

官民連携①「無印良品との連携協定～「可児市立カニミライブ図書館」の可能性～」、木村大輔氏。

＊二つの使命

①生活の質を上げる。

②店舗は、各地区のコミュニティーセンターになろう。一地域の人と共に地域課題に取り組む。

何を持ってコミュニティセンターなのか？自然な形で必要とされる。待ち合わせ、自然に足が向く。

可児市一ミライ図書館

無地一地域課題解決のために事業をする。

＊カニミライブ図書館

- ・ 町の未来を本気で考えて行動を起こす人がここにいる。

- ・町の最大の資源である人材が豊富である。
- ・人を中心とした活性化が期待出来る。
- ・暮らし安さが自然にねずいている地域である。
- ・小さな行動でも根本的な意識改革は行える。

①ちょっと楽しい②なんか感じがいい③興味をそそられる。

*図書館の活動拠点化（知行合一）ーローカルヒーローー自ら参加・行動する人ー興味を持った人ー無関心な人ー事業者

*コミュニティーセンターとしての表現

子育てに必要な町の機能について

- ・子供を少し離れて見守れる。
- ・イベントの告知がバラバラでは、だめ。

図書館ー可児市の未知を「知行合一」

- ・デザインの力ー無印の全てのデザインが取り込まれている。
- ・空間の使い方により集客という概念の根本を変える。

*無印良品・図書館のシームレスなゾーニング（壁なし）

・ワンストップライフー商品を見ながら本を読むー本を見るから、商品を見る。可児市と無印良品は包括提携を結ぶー全国初の図書館の併設。珈琲が飲める。

官民連携②「クラウドや生成A I による市民サービスの向上
～民間D Xノウハウを活用するポイント～」

高橋晃氏（町田市政策経営部経営改革室長）

「そのD X役人だけで出来ますか」

オープンイノベーションによるD Xの推進

- ・ 2 0 2 1 年、策定、デジタル推進計画
- ・ 有識者とのコラボD X施策を検討
- ・ 民間企業とのコラボ（タイムリーにデジタル施策を推進）

第一部デジタル化総合戦略

～スマートシティーを目指す。ロードマップ。

戦略①クラウドサービスへのシフト

2 0 2 4 年利用率が1 0 0 %

戦略②2 0 の企画を含むシステムの標準化

2 0 2 5 年までに準拠システムへの移動

戦略③バーチャル市役所に向けたD Xの」推進

3 Dアバター、A I ナビゲーター

第二部デジタル化推進委員会—3 名で立上げ①会議を全て

オンライン②会議はY, T U E B U とメタバース③過去の会

議はアーカイブで放送。

第三部生成A I 施策の推進

- ・民間企業との共創—生成A I の導入経路

①どうやって使うか②正確さがないのでは③個人情報は一
2023年NTT DATAと連携協定。

第3部議会と監査「議選監査の役割と活用法～時代に対応する自治体監査の進展～」

川上文浩氏、子籠敏人氏、江藤俊明教授、

江藤氏—監査委員会は行政委員会で独任制である。

- ・監査委員は、上がりのポストではない。
- ・民主的な監査のためには、議選監査が必要である
- ・議選監査委員による、全協で報告—守秘義務あり。

*可児市の監査委員の取組—川上文浩氏

- ・現在、4年目である。—1年交代はよくない。
- ・監査計画—3人、年間スケジュールを立てる。
- ・監査は、「名誉職」「たらいまわし」「閑職」ではない。
- ・議会改革ではなく、住民福祉の向上に向けた議会機能の充実である。現地監査&リモート監査(コロナ禍)・行政監査、

現場監査―「職員を守る立場でもある。」、定例会毎に報告。・
市役所をチェック―寄付金は一般会計に入れる。学校監査
「ママさんバレー」はダメ。

・監査の仕事は、議会に直結―識見監査は、議会の事はわから
ない―グレーゾーンは、なくそう。

・監査を基本条例に付け加えることも必要では。

・可児市監査委員は、委員会を外れる。

・あきる野市監査委員は、ただ、出席していない。

*あきる野市監査委員の取組―子籠敏人氏。

実感―自治体ごとに違う―全国の様々な取組を比較すると
か役に立つ。現地に行かなくても、オンライン(平時に試行)

・人に罪を作らせない。―リスクを負わせない。

・リスクを取り除くのが、監査委員の任務である。

・令和4年の取組。①監査委員のみで協議②行政監査の実施
③監査計画のバージョンアップ。

・令和5年の取組。①例月や定期監査との連動②決算審査報
告会の実施③定期監査の増④予算要求(講師など)

・令和6年の取組。①学校監査の実施―やるべき②他監査事

務局の視察③改善措置状況の報告④市のHPにお知らせを載せるべき⑤監査委員による初の全伝票チェック⑥監査計画をしっかりと作り込む―計画にないものは取り組めない⑦冒頭に市民目線⑧事務局職員の人材育成。

・令和7年の取組①学校監査の視点―私物化のチェック②危険物のチェック―倉庫のチェック③お金のチェック。

＊まとめ―守秘義務は、個人情報に違反しないこと―政争の具になるようなものに入らないこと。

考察、可児市の図書館と無印良品のコラボは、今後、浜田市の資料館建設や(仮称)神楽関連施設建設にヒントを貰った。次に町田市のDX計画は、全国一進んでいて、非常に高いハードルを感じた。最後に、議選監査委員の問題は、一部取り組んでいる事例もあり、役に立つと思う。

以上報告します。会派碧い海、牛尾昭。